



アドビシステムズ株式会社
141-0032 品川区大崎 1-11-2
ゲートシティ大崎イーストタワー19F

アドビシステムズ株式会社が 直感的なビジュアルデザインと強力なプログラミング機能を 兼ね備えたプロフェッショナル Web オーサリングツール 「Adobe® GoLive™ 5.0 日本語版」を発表

限定 20,000 本を発売記念特別価格 18,000 円 * で提供 *アドビストア提供価格

【2000年8月22日】

アドビシステムズ株式会社（本社：東京都品川区 代表取締役社長：堀 昭一）は本日、プロフェッショナル Web オーサリングツール「Adobe GoLive（アドビゴーライブ）5.0 日本語版」を発表しました。GoLive 5.0 には 100 以上の機能の追加および機能強化が施されており、これにより、デザイナーとコーダー（プログラマー）の共同作業を効率化し生産性を高めるほか、ダイナミックな Web サイトの制作とサイト管理を容易に行うことができます。

GoLive 5.0 は、Windows®版、Macintosh™版ともにアドビストア (www.adobe.co.jp/store/) および全国のアドビ製品取り扱い会社を通じて 2000 年 10 月より販売される予定です。アドビストアでは 2000 年 9 月中旬より予約受付を開始する予定です。

アドビでは、アドビストアでの予約受付開始と同時に「GoLive Go! キャンペーン」を実施します。キャンペーンの内容は以下のとおりです。

「GoLive Go! キャンペーン」概要

Adobe GoLive 5.0 日本語版(通常価格 39,800 円)を 20,000 本に限り発売記念価格 18,000 円で提供

Adobe GoLive 4.0 日本語版および GoLive CyberStudio 日本語版からのアップグレードを 9,800 円で提供

Adobe PageMill®日本語版正規登録ユーザに対し 9,800 円で特別提供を実施（2001 年 2 月末日申込み到着分まで）

*上記価格はすべてアドビストア提供価格です。

詳細は、Web サイト www.adobe.co.jp/golive/ をご参照ください。

また、アドビシステムズ株式会社は本日、Adobe GoLive 5.0 日本語版の発表にともない、同製品を含むトータル Web デザインソリューションの統合パッケージ製品「Adobe Web Collection（アドビウェブコレクション）日本語版」の最新版を発表しました。同コレクション製品は、Windows 版、Macintosh 版ともにアドビストアおよび全国のアドビ製品取り扱い会社を通じて 2000 年 10 月より販売される予定です。アドビストアでは、2000 年 9 月中旬より予約受付を開始する予定です。同コレクションのアドビストア提供価格は 178,000 円です。

Adobe Web Collection 日本語版の最新版には以下の製品がパッケージされています。

Adobe GoLive 5.0 日本語版

Adobe Illustrator® (アドビ イラストレーター) 9.0 日本語版

Adobe LiveMotion™ (アドビ ライブモーション) 日本語版

Adobe Photoshop® (アドビ フォトショッパ) 5.5 日本語版

アドビ システムズ社インターネット プロダクト グループのシニア ディレクターであるハंक スコーニーは、「Adobe GoLive 5.0 は、最先端の Web デザインを簡単かつ効率的に行うのに必要なビジュアルデザインツールや、サイト管理およびサイトレポート機能、強力な制作能力を提供し、企業が顧客を引き付け、維持することを可能にするオンライン体験を実現します。Adobe GoLive 5.0 は、コーダーが必要とするすべての強力なコーディング機能を提供するとともに、Web制作ワークフローの共同作業に求められるクリエイティブな柔軟性をデザイナーに提供します」と述べています。

GoLive 5.0 は、マルチメディア編集向けのタイムラインエディタや、あらゆるWeb デザインソースコードの完全なコントロールが可能な「360Code™」、卓越したサイトデザインおよびサイト管理機能、WebDAV 標準プロトコルのサポートによるファイルのチェックインおよびチェックアウト、その他のアドビ製品とドラッグ&ドロップでオブジェクトを共有できる「スマートリンク」など、数々の新機能を搭載しています。さらに、Dynamic Link (ダイナミックリンク) などの最先端の機能で、ダイナミックなデータベースとe コマース機能の連携を容易に実現します。

また、GoLive 5.0 は、Adobe Photoshop、Adobe Illustrator、Adobe LiveMotion、Adobe After Effects®、Adobe Premiere®など、アドビのプロフェッショナル向け Web およびグラフィック製品と緊密に統合されています。これらの製品は完全なアドビ Web ソリューションを構成し、Web プロフェッショナルが魅力的なオンライン体験を実現する際に、企画から完成に至るまでに必要となるすべてのツールを提供します。

さらにアドビでは、GoLive 5.0の機能をベースに、Web制作を行うワークグループ向けに、コラボレーション、e ビジネス、サイト管理、コンテンツ管理を実現する製品を提供していく計画です。また、GoLive 5.0 は優れた拡張性を提供しており、アドビからはソフトウェア開発キット (SDK) が提供される予定です。

e- ビジネスソリューションの有力プロバイダ Answerthink 社のデザイナーである Rich Grasso 氏は、「Web ページは、多くの場合、デザイナーとプログラマーの間を何度も行き来するものです。GoLive 5.0 を使用すれば、ドキュメントのソースコードのコンテンツと構造に影響を与えることなく、GoLive のビジュアル環境とあらゆるテキストベースのHTMLエディタ間でHTMLページとカスタムマークアップ言語をやり取りできます。これは時間の節約になりますし、プログラミングおよびデータベースチームが完成させた作品に影響を与えることなく、サイトを進化させることができます」と述べています。

Adobe GoLive 5.0 日本語版では、「i モード用モジュール」という日本語版に特化した機能を備えています。i モード用モジュールは、i モード対応 HTML ページの直感的なオーサリ

ングを可能にします。iモード用モジュールにより、NTT ドコモのiモード端末 501i および 502i シリーズ向けタグセットのサポートを実現しています。

流行に敏感な若者のファッションをリードする Paul Smith 社で展開されているブランドのひとつ、R. Newbold は情報を iモードに提供しています (www.r-newbold.com)。同サイトでは、同ブランドの全国のショップ情報(地図情報を含む)、商品の入荷情報、R. Newbold ブランドが掲載された雑誌の情報などが満載されています。また、メンバー登録を行うとユーザ個人の嗜好に合わせた情報が定期的に送られてきます。

R. Newbold ブランドのサイトを iモード用に制作しており、Web 戦略、インフォメーション デザインおよび顧客体験の向上を専門とする Web デザイン会社 Studio Omame (omame.com) の Partner で CTO である George Baptista 氏は、「R. Newbold の iモード用サイトを制作するには、私が PHP スクリプティングやデータベースとの連携といった雑多なことに集中している間に当社のクリエイティブ デザイナーが迅速に iモード用ページの制作を可能にするソリューションが必要でした。GoLive 5.0 は iモード用モジュール、先進のインフォメーション デザイン ツールであるサイトデザイン機能、および WebDAV など多くの優れた機能を備えており、我々のニーズを完全に満たす素晴らしいツールです」と、語っています。

アドビ システムズ社 GoLive 担当プロダクト マネージャーであるジョージ A. アリオラは、「日本は世界的なワイヤレスの革新における最前線に位置しています。NTT ドコモの iモードフォーマットは、3G、もしくは WideBand (Wireless + Broadband) の方向に向かっており、我々はこうした新興市場において我々の顧客が勝者となるのに必要な Web デザイン ツールを提供する主要なサプライヤとなることを願っています。GoLive 5.0 に備わっている iモード用モジュールを利用することにより、ユーザは「絵文字」や「i.フォーム」のエレメントタグセットを使った iモード対応 HTML ページを作成することができます。もっとも重要なことは、これまでのプロフェッショナルなオーサリングツールにはなかった絵文字エレメントのドラッグ & ドロップでの配置、リアルタイムでのレンダリングなどが可能になっていることです。1つのパッケージで、「e ビジネス」(Web) や「m ビジネス」(Mobile/Wireless) を目的としたフルスケールの Web サイトをデザインし、配置し、管理をすることができる Adobe GoLive 5.0 は、ユーザにとって強力な資産となります」と、述べています。

「Adobe GoLive 5.0 日本語版」の主な新機能

360Code によるソースコードの完全なコントロール

GoLive は、コンテンツやドキュメントの HTML ソースコードの構造に影響を与えることなく、GoLive のビジュアル環境とテキストベースの HTML エディタ間で HTML ページや JavaScript を含んだ様々な種類のコードをやり取りすることができるため、デザインを行うデザイナーとコーディングを行うコーダーが混在する環境において、共同作業を強化することができます。これにより、最終的なコードに対するコーダーのコントロールが高まり、外国語や非標準のコード (ASP、ColdFusion、HTML、FileMaker、JavaScript、XML、XHTML など) を、単純に変更せずにおくことで、インテリジェントに扱うことができます。

トレーシングイメージの読み込み、編集

GoLive 5.0ではトレースするための画像を読み込んでWebページの事前のレイアウトに使うことができます。画像は、一部を切り取って編集したりWeb用の画像フォーマットで保存し、簡単にアクセスすることができます。

ヒストリーパレット

GoLive 5.0は様々な操作の取り消しだけでなく、ヒストリーパレットもサポートしています。レイアウトグリッド、テーブル、画像プレースホルダーなどのオブジェクトがWebページに追加される際に、ヒストリーパレットは、現在までに実行した機能の一覧をリアルタイムに表示することができます。また、パレットに表示される編集履歴を使って、簡単に戻ってやり直すことができます。

ストリーミングメディアをサポートするタイムラインエディタ

GoLive 5.0にはオーディオおよびビデオファイルを扱うために強化されたエディタが搭載されています。デザイナーは、GoLiveのタイムラインエディタを利用することによって、複雑な座標設定を計算したり出力することなく、QuickTimeオブジェクトやSWFファイルをドラッグ&ドロップしてQuickTimeタイムラインに視覚的に配置することができます。

自動最適化

GoLiveでは、PhotoshopのPSDネイティブファイルを直接レイアウトすることができます。その際にAdobe Photoshopの「Web用に保存」の機能をGoLiveから利用することができます。また、いったんWeb用の画像のサイズを変更した際にも画像のサイズに合わせて自動的に最適化されるので、GoLive上でそのまま作業ができ、他のアプリケーションとの間を行き来する必要がなくなります。

スマートリンク

GoLive 5.0はPhotoshop、Illustrator、LiveMotionで作成されたファイルをドラッグ&ドロップで読み込み、レイアウトを行うことができ、ダブルクリックでそれぞれのアプリケーションを自動的に起動し、編集することができます。さらにネイティブアプリケーションを立ち上げることなく、PSDファイルのサイズを変更したり、シームレスに更新することができます。これにより、デザイナーは、常にオリジナルのソースファイルを使って作業することができ、ワークフローの生産性を大幅に向上することができます。

サイトデザイン

以前は、インフォメーションアーキテクトやサイト制作者がサイト構造や情報フローを指定する際にはダイヤグラミングまたはイラストレーションプログラムを使用する必要がありました。GoLive 5.0のビジュアル環境では、サイトデザインにおいてきわめて重要なこのステップを処理することができ、デザインプロセスが簡素化されます。このサイトデザイン機能はデザイナーが簡単かつ効率的にページを再配置したり、ページ間のリンクを変更することができます。例えば、ドラッグ&ドロップだけで簡単に子ページを親ページに変え、関連するリンクもすべて自動的にかつインテリジェントに変更されます。この機能により、最良のナビゲーションと情報フローを実現するサイト構成のプロセスを効率化します。

複数のデザインやコンセプトを並行して作成し、サイト内外のデザインとシームレスに「組み合わせる」ことができるため、他のWebオーサリングツールでは不可能であった新たなレベルのサイトプロトタイプ作成が可能となります。これにより、実際にページを作成する前にセクションまたはサイトの全体デザインを行い、クライアントの承認を得ることができます。

複数パネルによる複数表示

サイトデザインにおいて、「ライブ」で概念化されたサイトページだけでなく、サイト内の個別のセクションを表示するために複数のパネルが用意されています。例えば、サイトに掲載されていない作成済みのページをすべて作業用パネルに表示したり、サイトの特定の領域だけをミニパネルに表示することなどが可能です。また、デザイナーや制作者が特定のページのみをハイライトし、サイト内のほかのページとのリレーション（特定ページへの入力リンク、または、スポットライトされたページから他のページへの出力リンク）を把握するためのスポットライト機能もサポートされています。さらに、デザイナーは Adobe Acrobat®のユーザには馴染みのある注釈機能を利用して、メモやコメントを付けることができます。

サイトレポートの作成

GoLive 5.0 は Web サイトレポート用に強力なサイトレポートコントローラを備えており、Web 管理者は、例えば「2 クリック以下で閲覧できるページをすべて表示する」といったクエリーを指定し、結果をさまざまな形式（詳細リスト、ナビゲーション表示、ファイルおよび階層）で表示することができます。Web 管理者はこの情報を基に、重要なコンテンツへのアクセスをより容易にするためにはサイト構造をどのように変更すべきかを決定することができます。

チェックインおよびチェックアウト

GoLive 5.0 は、WebDAV 標準プロトコルをサポートしており、チームで作業を行っているデザイナーの生産性の向上と共同作業の効率を高めることができます。デザイナーは現在作業を行っているファイルをロックして、他のチームメンバーが同時に変更を行うことを防ぐことができます。ページの変更を終了した時点でロックを解除することにより、他のグループメンバーがファイルにアクセスし、さらに編集を加えることができます。

最新の Web テクノロジーのサポート

Web デザイナーの技術的な制限をなくすため、GoLive 5.0 は CSS、SVG など W3C の規格をサポートしています。さらに、SWF 形式、Apple QuickTime ストリーミング、Real Networks G2 に対応しています。

i モード用モジュール

i モード用モジュールは、i モード対応 HTML ページのビジュアルなオーサリングを可能にします。i モード用モジュールと GoLive 5.0 の 360Code の組み合わせにより、NTT ドコモの i モード端末 501i および 502i シリーズ向けタグセットのサポートを実現しています。i モード用モジュール内の絵文字タグは、i モード端末のみで閲覧可能な 166 個のハードコード化された独自の画像のオーサリングを実現します。絵文字インスペクタとタグセットに

より、iモード端末を所有、使用しなくとも、GoLiveのレイアウトモードとプレビューモードでこれらの画像を描画できます。

iモード用モジュールは次の機能を提供します。

- iモード対応 HTML Form のオーサリング
- 絵文字タグオーサリングとレンダリング
- 広範なiモードハイパーリンク管理
- FTP/WebDAV のビジュアルサポート

データベースとの連携を容易にするダイナミックリンク

Adobe GoLive 5.0 には新たな機能拡張としてダイナミックリンク for ASP が備わっているため、プログラミングに関する予備知識なしに、ODBCに準拠しているデータベースにシームレスに接続できます。これにより、eコマースとデータベースを含む、システムとの一体化のプロセスを簡素化し、デザイナーは、ダイナミックなWebサイトの制作やメンテナンスを効率的に行うことができます。

デザイナーは、GoLive の統合されたダイナミックリンクパレットを利用することにより、仮のコンテンツをレイアウトすることができます。Web ページ上の仮コンテンツは1アクションでデータベースにリンクすることができ、独自のテンプレートを作成することができます。ASP コードはすべてダイナミックリンクによって自動的に記述されます。また、デザイナーは、Web ブラウザを通じて、プラグインなしで、Web ページの閲覧者が書いた記事を直接掲載することのできる Web ページを制作することもできます。さらに、データベースとの連携に関するコードを壊すことなく、テンプレートページを変更することもできます。

高い拡張性

ISV、企業のプログラマー、デザイナーはソフトウェア開発キット (SDK) を利用することによって、それぞれのニーズに応じて、GoLive 5.0 の機能を拡張することができます。GoLive 5.0 には JavaScript 向けの統合された開発環境 (IDE) が含まれています。JavaScript インタプリタおよびデバッガにより、Sun の JavaScript や Microsoft の Jscript に完全に準拠した強力な機能拡張やGoLiveの完全なカスタマイズ(パレット、インスペクタ、メニューアイテムなどのカスタマイズ)ができます。

必要システム構成

Macintosh 版

- Power Macintosh® (Power Macintosh G3, G4 プロセッサ搭載モデルを推奨)
- Mac OS 8.6、9.0
- 64MB 以上の RAM 推奨 (128MB 以上推奨。仮想メモリ「入」を推奨)
- 80MB 以上の空き容量のあるハードディスク (170MB 以上推奨)
- CD-ROM ドライブ
- 1024 x 768 ピクセル以上のモニタ解像度を推奨

Windows 版

- ・ 200 MHz 以上の Intel® Pentium®または 100% 互換プロセッサを搭載したパーソナルコンピュータ (Intel Pentium II 以上推奨)
- ・ Windows 98 日本語版、Windows NT® 4.0 日本語版 Service Pack 4 以上、Windows 2000 日本語版
- ・ 64MB 以上の RAM 推奨 (96MB 以上推奨)
- ・ 80MB 以上の空き容量のあるハードディスク (150MB 以上推奨)
- ・ CD-ROM ドライブ
- ・ 1024 x 768 ピクセル以上のモニタ解像度を推奨

アドビシステムズ社について

アドビシステムズ社は、1982年に創立された、米国カリフォルニア州サンノゼに本社をおくソフトウェア会社です。これまで、Web および印刷、出版分野において定評のある様々なソフトウェアソリューションを提供し、多くの業界賞を受賞してきました。その優れたグラフィックデザイン、イメージング、映像動画、そしてオーサリングのためのツールは、あらゆるタイプのメディアにおいて豊かで視覚効果あふれるコンテンツの制作、出版、配信を可能にします。アドビシステムズ社は米国を本拠とするパーソナルコンピュータ用ソフトウェア会社中第3位で、1999年の年商は10億ドルを超えています。アドビシステムズ株式会社はその日本法人です。詳細な情報は、Web サイト www.adobe.co.jp でご覧いただけます。

< 本件をご掲載いただく場合の読者からの問い合わせ先 >

アドビ製品一般に関する問い合わせ先
アドビカスタマーインフォメーションセンター
電話：03-5350-0407

アドビストアでの購入に関する問い合わせ先
アドビストア・アップグレードセンター
電話：03-3345-4300